

子ども活動等人材育成事業について

1. 事業の趣旨

児童生徒への1人1台端末の普及により、ICTを活用した課外活動にも大きな期待が寄せられる一方、コロナ禍による野外活動等の不足が子どもの心身の成長に様々な影響を及ぼしつつある中、課外におけるICTを活用した活動や野外活動を実施できる人材を育成することにより、子どもたちの多様な活動の創出を図る。

2. 実施状況

(1) ICT活用セミナー

ア 開催時期 令和4年9月6日～10月31日 計9回（東・中・南予 各3回）

イ 参加者 放課後子ども教室・土曜教育活動・児童クラブ関係者、公民館関係者、愛護班、市町教育委員会職員等 広く子どもたちの教育活動に関わる方

計70名（東予：22名 中予：27名 南予21名）

ウ 内 容

回	講 義 内 容
1回目	(参集) Zoomの基本操作、情報セキュリティ、オンライン教材の紹介等
2回目	(参集) オンラインミーティング実習(開催・運営方法・マナー等の習得)
3回目	(オンライン) ICTを活用した活動案の発表等

エ 事後アンケートより

- ・ 全ての回答者が「役立った」と回答（回収率90.0%）
- ・ 主に「知識・技能を習得することができた」「活動への意欲が向上した」「今後の新たな活動に役立てることができる」等の感想が見られた。

オ 活動状況



東予会場



中予会場



南予会場



オンライン

(2) 野外体験活動セミナー

ア 開催日 令和4年11月25日(中予)、11月29日(南予)、12月6日(東予)

イ 参加者 放課後子ども教室・児童クラブ関係者、公民館関係者、PTA、市町教育委員会職員等 広く子どもたちの教育活動に関わる方
計62名(東予:18名 中予:18名 南予26名)

ウ 内 容 実地研修(90分)及び講義(30分)

(実地研修) 身近な自然で楽しく安全に活動ができるよう、公園の木々や落ち葉などを用いた子どもたちが夢中になれる遊びのほか、子どもたちの好奇心をくすぐる効果的な自然観察の方法や技能を身に付ける

(講 義) リスクマネジメントの考え方やポイントについて学ぶ

エ 事後アンケートより

- ・ 全ての回答者が「役立った」と回答(回収率86.6%)
- ・ 主に「何もない身近な公園でも、様々な遊びや豊かな体験ができることを実感した」「早速子どもたちに体験させたい」「安全管理について分かりやすく教えていただいた」等の感想が多く見られた。

オ 活動状況

<実地研修>



「葉っぱじゃんけん」



「リーフスライド」



「冬探し」

<講 義>



東予会場



中予会場



南予会場